

令和 6 年 8 月 7 日

福島ビエンナーレ 2024 風月の芸術祭 in 白河

「福島ビエンナーレ」は、2004 年から福島大学と福島県内の市町村との協働により「ビエンナーレ(隔年)」で開催されてきた芸術企画です。2020 年から白河市で開催されており、白河市での開催は今回で 3 回目となります。

今年も白河市で開催される松平定信と関連する白河小峰城や南湖公園、白河閑跡、奥州街道にある城下町の歴史・文化資源を活用し、多種多様な現代美術の展覧会、公演、講演会、シンポジウム、ワークショップを開催いたします。

ぜひ取材方よろしくお願ひいたします。

- ◆日 程：2024 年 8 月 24 日(土)～9 月 15 日(日)
- ◆場 所：白河市 南湖公園、翠楽園、白河文化交流館コミネス、
歴史的建造物：まちなか脇本陣 蔵座敷、神社・寺院・教会等
- ◆企 画：風月の芸術祭実行委員会（事務局 白河市）
- ◆助 成：福島県、芸術による地域創造研究所
- ◆芸術監督：渡邊晃一（福島大学 芸術による地域創造研究所）

「福島ビエンナーレ」は、これまで福島内の県北(福島県文化センター、福島市、二本松市)、県中(福島空港、須賀川市)、会津(湯川村、喜多方市)、相双地区(南相馬市)に続き、2020 年から白河市が運営に参画し、「風月の芸術祭」として産官民学の協働により開催してきました。2012 年に福島空港で開催された際は、オノヨーコ氏やヤノベケンジ氏をはじめ、国際的な現代美術家が参画し、世界中のメディアで紹介され、震災後の福島発信の芸術企画として広く知れ渡りました。

今回の「風月の芸術祭」というタイトルは、江戸時代の陸奥国白河藩主、松平定信公の雅号「風月」に由来します。「風月」は、清風と明月。秋の自然、風物に親しむことや、風流に親しんで詩歌を創作すること(才能)を示します。英訳すると「beauties of nature」「converse with nature」の意味があり、自然を愛で、文化を享受する心を伝えるものです。詳細は別途チラシをご覧ください。

(お問い合わせ先)

人間発達文化学類・教授 渡邊 晃一（芸術による地域創造研究所 所長）
電話/FAX：024-548-8226
メール：koichiw@educ.fukushima-u.ac.jp

